

乳幼児健康診査における必須問診項目の追加に伴う自治体の取り組み状況に関するアンケート調査

都道府県

平成26年11月26日に厚労省からの事務連絡を受理後の貴県及び貴県下の市町村の乳幼児健康診査の対応状況についてお伺いします。

回答数: 31か所
(全体の66.0%回答)

あてはまる内容を選択し、必要時、該当する数字や意見をご記入ください。

1 事務連絡の内容や取扱いについて、市町村の担当者に説明をされましたか。

□	→実施済みの場合は1(1)へ	実施済み	28
	→予定の場合は、予定の時期を記入を記入し2へ	実施予定	2
		予定なし	1

(1)すでに実施済みを選ばれた場合のみ以下をお答えください。

①説明をした回数分入力してください(最大5回分:実施していない場合は記入しないでください)

方法	回数	開催回数	か所	割合
文書送付	48	1	4	14.3%
担当者会議	22	2	6	21.4%
その他	12	3	9	32.1%
合計	82	4	4	14.3%
		5	5	17.9%
		合計	28	

1県あたり平均3回程度実施

②説明後、各市町村からの質問、意見がありましたか。

□	→あった場合は③へ	あり	27
	→特にない場合は2へ	特にない	1

③どのような質問、意見があったのかご記入ください。

1実施にあたっての現状の課題

- ①設問が多く、保護者に負担がかかり、待ち時間の増大するなどの健診に対する負担増
- ②児童虐待に関する項目については、どの程度の状況で○と回答したらいいのか難しいなどの保護者の回答に関する保健師判断の迷い
- ③調査開始時期やアンケート(無記名)の可否、医療機関委託健診の場合の問診票及び聞き取り方法など実施(時期・方法)に関する迷い
- ④システムの改修等が必要になるため予算や期間の問題があり困難、システム改修予算が間に合わないなどのシステムや報告など実施に係る問題

2実施からでた検討すべき課題

- ①文章が直接的なので表現を変えてもよいか、アンケート回収形式でよいかなどの質問項目や方法の修正の不可についての問い合わせ
- ②問診票の郵送料、業者委託費、システム改修費、人件費等の予算の措置に関する意見や問い合わせ
- ③必ず実施しないとイケないか、システムや問診票等、大幅な変更が必要であり予算措置がないまま実施することは困難など実施義務の有無及び実施困難な状況についての問い合わせ

3今後円滑な実施のための検討すべき課題

- ①質問項目や方法の改善・再検討への要望
- ②今後、いつまで継続となるのか、内容の変更はあるか他市の実態やうまくいっている対応、報告の方法等を早く教えて欲しいなどの国への情報提供の要望

4その他

追加項目の内容によっては、虐待のように取りっぱなしにできない内容があるが、マニュアルや説明会等の予定はあるか。育児中の喫煙本数は健やか親子21の評価項目には含まれていないが聞き取らなければならないか等

2 児童虐待に関する項目の問診に関するご意見(課題、不安など)についてご自由にお書きください。

- 1 回答の精度についての疑問
- 2 導入への不安や課題
- 3 保健師の技術不足
- 4 実施について検討中
- 5 追加問診項目の見直しの要望
- 6 ハイリスク抽出後の支援体制の確立の要望
- 7 問題なし
- 8 支援のきっかけとなるなど